

講義の実践例－童謡『どんぐりころころ』を考える－

松 尾 公 則

Practical example of lecture : thinking about the nursery rhyme “Donguri korokoro”

Takanori MATSUO

長崎女子短期大学紀要 第48号 令和4年度 別刷

Reprinted form

Nagasaki Women's Junior College Annual Report of Studies, 48 : 62 – 70

2023

講義の実践例—童謡『どんぐりころころ』を考える—

松 尾 公 則

Practical example of lecture : thinking about the nursery rhyme “Donguri korokoro”

Takanori MATSUO

キーワード：どんぐり どじょう どんぐりころころ

1. はじめに

幼稚園で指導すべき5領域の中に「環境」の分野がある。環境には3つの大きなねらいがあるとされている。つまり、(1)身近な環境に親しみ、自然と触れ合うなかで様々な事象に興味や関心を持つ。(2)身近な環境に自分から関り、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。(3)身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする、である。しかし、幼児教育科の学生を指導する中、自然への知識や興味が非常に少なく不安に感じることが多い。そこで、せめて、「ヒトと生物」という選択科目を受講してくれる学生ぐらいには自然のおもしろさを味わってほしいと思い、身近な動植物を扱い講義を行っているが、その中にどんぐりの授業も含まれている。今回は、どんぐりを使った講義の実践例を報告したい。

2. 授業までのいきさつ

幼稚園や保育園で、園児の宝物といえば、動物なら「ダンゴムシ」(図1)、植物なら「どんぐり」(図2)であろう。今年の秋の幼稚園実習後の話題の中でも、どんぐりやダンゴムシの必要性について話されていた。現在は担当していないが、4年前までの環境という講義の中で、この2つだけは特別に時間をとって教えてきた。そして、今年も、幼児教育科の選択科目「ヒトと生物」の中で、

ダンゴムシの授業とどんぐりの授業をそれぞれ90分の時間を使い実施した。今回は、どんぐりの授業についてまとめてみたい。どんぐりといえば、どんぐりゴマやどんぐり笛など、どんぐりの実を使った内容がほとんどであろう。私の講義では、そのようなどんぐりの実遊びではなく、有名な童謡である「どんぐりころころ」を対象にしている。なお、今年の講義の対象学生は16名である。



図1. ダンゴムシ

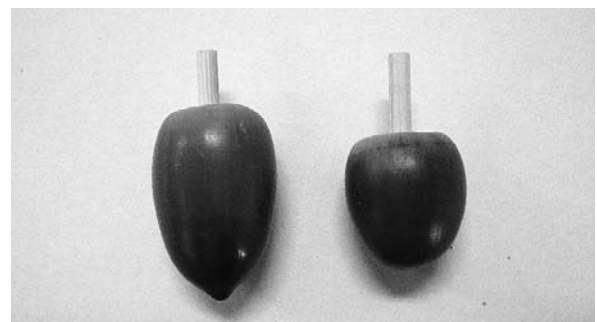


図2. どんぐりゴマ

3. 講義の材料「ドングリ」と「ドジョウ」と童謡「どんぐりころころ」について

3-1 ドングリ

長崎女子短大は緑に囲まれた森の中にある。構内には、ドングリの実ができるシイ・カシ類が多く、秋には多くの種類や数を採集することができる。特に多いのが、マテバシイ、アラカシ、スダジイ、シリブカガシ等であるが、大きな実のなるクヌギの木やクリの木もある。今回の講義では、マテバシイ（図3）、アラカシ（図4）、シリブカガシ（図5）の実を使用した。



図3. マテバシイの実



図4. アラカシの実



図5. シリブカガシの実

3-2 ドジョウ

今までの経験の中で、ドジョウ（図6）を見た

ことがある学生はほぼ皆無だったので、今回の講義の学生も同じ傾向であろうと思い、前もって、ドジョウを準備した。近年、ドジョウを採集することは難しいので、ペット屋さんで熱帯魚の餌用の個体を購入し見せることにした。今回の16名の学生の中で、ドジョウの名前は全員知っていたが、全員が本物は見たことがないということだった。最初にドジョウの絵を書かせてみたが、「イラスト等で見たことがあるようなないような」と多種多様な絵を書いていた。本物のドジョウを見せた時、これがドングリころころの主役の一人であることで興奮し感動していた。見た感想としては、「ウナギみたい」、「本当にヒゲがあるんだ」、「意外とかわいい」などがあつた。

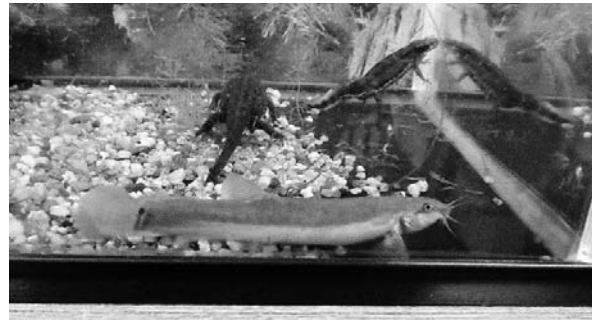


図6. ドジョウ

3-3 「どんぐりころころ」の歌

「どんぐりころころ」の歌詞としては次の通りである。この歌詞についてはほぼ全員が知っており、全員が歌うことができた。

- 1 番 どんぐりころころ どんぶりこ
 おいけにはまって さあたいへん
 どじょうがでてきて こんにちは
 ほっちゃんいっしょに あそびましょう
- 2 番 どんぐりころころ よろこんで
 しばらくいっしょに あそんだが
 やっぱりおやまが こいしいと
 ないてはどじょうを こまらせた

どんぐりころころの歌は一応2番までとなっているが、ネットなどで調べてみると、3番の歌詞として次の2つが紹介されている。ちなみに、このことについて知っていた学生は、16人中1名だ

けであった。

3番（リス）

どんぐりころころ ないてたら
 なかよしこりすが とんできて
 おちばにくるんで おんぶして
 いそいでおやまに つれてった

3番（カラス）

どんぐりころころ ないてたら
 からすのかあさん とんできて
 おくちにくわえて おやまへと
 どんぐりはこんで あげました

4. 講義の内容

本物のドングリとドジョウを十分に鑑賞した後、プリント（図7）を配布し、講義を開始した。

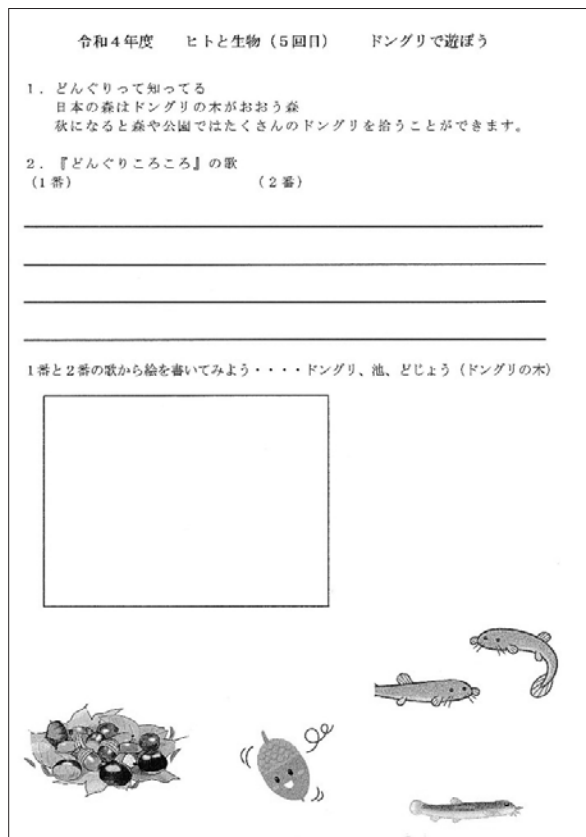


図7. 配布プリント（一枚目）

4-1 「どんぐりころころ」の歌詞を書き、歌ってみよう

学生全員にドングリを渡し、教卓にはドジョウを置き、それらをじっくりと見ながら、プリント

にどんぐりころころの歌詞を書いてもらう。歌詞の方は、音楽の講義で習っているようで、ほぼ全員が間違いなく書くことができた。書き終わったところで、みんなで大きな声で歌った。

4-2 絵を描いてみよう



図8. 絵を書いているところ

1番と2番を口ずさみながら、その情景を絵に描いてもらう（図8）。その際、絵の苦手な学生も多いので、ドングリとドジョウのイラスト的なものは配布したプリントに書いておくことにした。図9は、学生の描いたプリントの一例である。

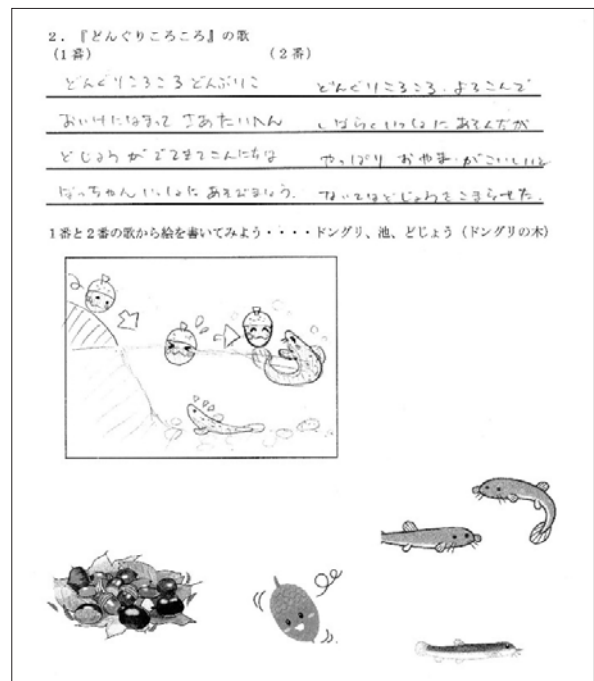


図9. 学生Aのプリント

4-3 どんぐりころころの3番を考えよう。

1枚目のプリントで、1番・2番の歌詞と情景を描いたのち、2枚目のプリント（図10）を配布

する。どんぐりころころは、2番までの歌詞が普通である。巷のうわさでは3番も存在することだが、学生はほとんど知らない。ネットで調べてみると、カラスやリスが登場するものだが、そのことはふせておいて、歌詞や絵を見ながらそれぞれに3番の歌詞を考え、歌詞を書かせる(図11)。

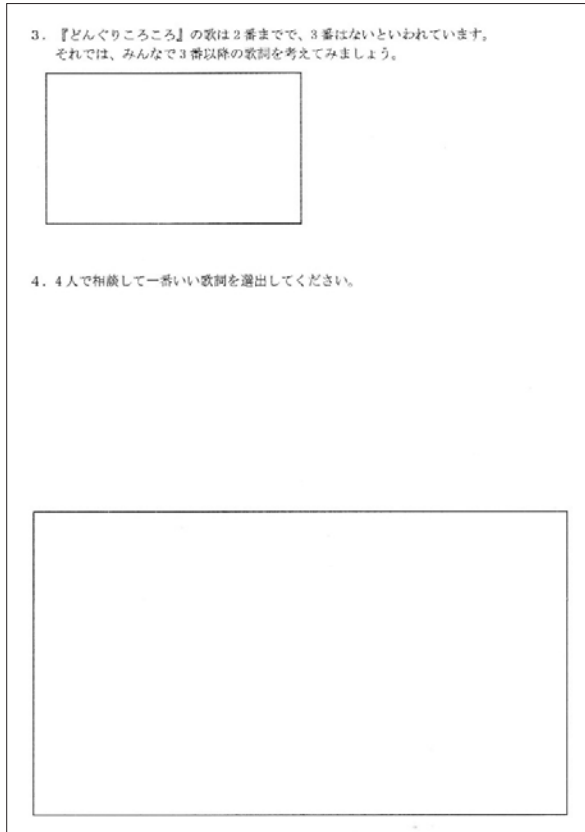


図10. 配布プリント (二枚目)



図11. 3番の歌詞を考えているところ

4-4 グループの代表歌詞を決めよう。

現在のヒトと生物の講義の参加者は16人なので、4人ずつのグループを作り、グループごとにそれぞれが歌詞を出し合ってグループの代表歌詞を決定する。その際、代表歌詞の手直しも可能と説明

する(図12)。



図12. グループ会議

4-5 各グループの歌詞を見て、歌ってみよう。

各グループの代表歌詞を白板に記入する(図13)。その後、グループごとに、全員で前に出てきて、自分たちが決定した歌詞の歌を歌う(図14)。



図13. グループごとの歌詞



図14. 歌を歌う

4-6 今年の代表歌詞を決定しよう。

全員の投票により、今年の代表歌詞を決定する。ちなみに、今回の代表歌詞は次の通りである(図15)。

どんぐりころころ ないてたら
かあさんどんぐり やってきて

おやまにかえろと てをつなぎ
どじょうにさよなら てをふった

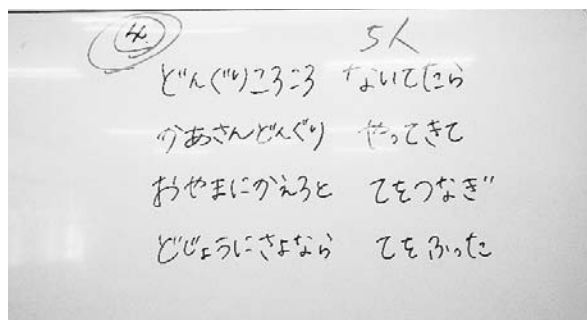


図15. 代表歌詞

4-7 代表グループは優秀歌詞で歌ってみよう。

全員投票で一番多くの票を集めたグループには、最後に、前に出てもらい、再度歌ってもらう。

4-8 3番の歌詞の絵を描いてみよう。

講義の最後として、代表歌詞3番の歌詞を書き写し、それをもとに、絵を書いてもらう(図16・17)。



図16. 3番の絵の情景を描く

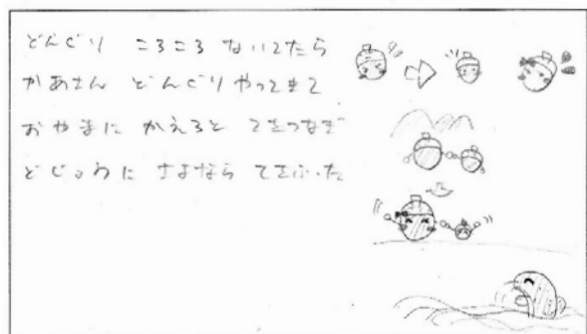


図17. 3番の歌詞と絵

4-9 過去の優秀作品を見てみよう。

環境の講義を担当していた時にも同じようなこ

とをしていたので、毎年の最優秀作品だけは残していた。過去の先輩たちの歌詞を渡し、講義のまとめとした。

5. 講義の感想

講義内容について感想の一部は次の通りである。それぞれの学生が考えた3番とともに感想を紹介したいと思う。

学生A

歌詞：どんぐりころころ てくてくと
なかまがあとから やってきて
ないてたどんぐり なきやんで
みんなでたのしく あそんだよ

私は今回の講義を受けてどんぐりころころの3番の歌詞を考えることは面白いと思いました。いろいろな意見があって面白かったです。小さい頃、ドングリを見つけて遊んだことを思い出しました。ドングリがたくさん落ちていて沢山拾っていましたが、中から虫が出てきたことがあって少し苦手になりました。ここで学んだことを保育者として生かしていきたいです。

学生B

歌詞：どんぐりころころ どんぶりこ
ないてたあいだに ねてしまい
つぎのひおきると まわりには
きょうだいみんなが そろってた

自分で歌詞を作り人の前で歌うのは恥ずかしかったです。ドングリの気持ちを考えて、ハッピーエンドになることがいいと思いました。ドジョウを初めてみたので面白かったです。子どもたちにも歌わせたいと思いました。

学生C

歌詞：どんぐりころころ ないてたら
どんぐりかあさん やってきて
どんぐりだきしめ おやまへと
なかよくかえって いきました

どんぐりころころは実習の中でも歌いましたが、初めて歌詞を考えるを通して、さらに好きになりました。外の班や同じ班の人の歌詞を聞いてみると、一人ひとり個性があって聞いていてとても楽しかったです。園に就職した際にも、歌詞を

作って子どもたちを楽しませたいと思いました。

学生D

歌詞：どんぐりころころ ないてたら
かあさんどんぐり やってきて
おやまへかえろと てをつなぎ
どじょうにさよなら てをふった

ドングリにもさまざまな種類があることを初めて知りました。保育実習に行った際、毎日のように「先生、ドングリ拾い」と言われ、子どもたちと一緒に探し回りました。この経験から子どもたちはドングリが好きなことが分かるので、現場でドングリの話ができるようになりたいです。

学生E

歌詞：どんぐりころころ ないてたら
どんぐりかあさん やってきて
どんぐりとうさん やってきて
みんなでなかよく かえったよ

どんぐりころころの3番の歌詞を作って楽しかったです。みんなそれぞれに歌詞が違って面白かった。また、歌詞の情景を思い浮かべながら、その絵を書くのは意外と難しいなと思いました。

学生F

歌詞：どんぐりころころ なきやんで
しばらくいっしょに かんがえた
どんぐりかあさん むかえにきて
いっしょにおやまに かえったよ

ドジョウを近くで見ることができて、ひげが沢山あるのに驚きました。実習では「どんぐりころころ」のスケッチブックシアターを使いながら子どもたちの一緒に歌いました。今度は、子どもたちと一緒に3番を考えて歌いたいと思います。

6. 過去の作品

平成24年度から7年間、環境という講義の中で「どんぐりころころを考える」という内容を実践してきた。その頃の資料は残っていないが、代表歌詞だけは残っていたので紹介しておく。

平成24年度（2012年）

Y Aクラス

どんぐりころころ かなしくて

しばらくなくて ぐずったら
どじょうがやさしく こえかけて
しっぽでどじょうを なげたとき

どんぐりころころ とんでって
どっかのおやまに ついたとき
おうちをさがして うろうろと
あるいてどんぐり つかれたよ

どんぐりころころ ないてたら
とつぜんおやまが やってきて
せなかにのせて あるきだし
きちんとおうちに とどけたよ

Y Bクラス

どんぐりころころ きょうだいも
おいけにはまって どうしましょ
とうさんかあさん じいばあや
みんなでいっしょに やってきた

どんぐりころころ どんぶりこ
かーぞくみんなが そろったが
やっぱりおやまが こいしいと
みんなでどじょうを こまらせた

どんぐりころころ さようなら
あそんでくれて ありがとう
どんぐりいっかは かえります
おいけでげんきに すごしてね

平成25年度（2013年）

Y Aクラス

どんぐりころころ おどろいた
どじょうがなかまを よんできて
みんなでどんぐり かえそうよ
ありがとおかげで かえれます

Y Bクラス

どんぐりころころ こーろころ
ころころころころ めがまわる
それでもころころ こーろころ

ころころすること だいすきさ

どじょうもいっしょに やまいった

どんぐりころころ ころころ
ころころすること だいすきさ
だーれかいっしょに やりましょう
ころころころころ あつまって

平成28年（2016年）
Y Aクラス
どんぐりいろいろ おまえだけ
あいたいきみに どんぐりに
どこにいるんだ さがしてる
きみがすきだよ アイラブユー

だんごむしころころ ころころ
ころころすること だいすきさ
どんぐりいっしょに ころころと
ころころころころ ごつつんこ

Y Bクラス
どんぐりころころ ないてたら
なみだでキラキラ にじかかり
ペタペタにじの はしわたる
かあさんおうちで まっていた

平成26年度（2014年）

Y Aクラス

どんぐりころころ おやまから
つぎからつぎへと なかまたち
みんなもどじょうと あそんだら
どんぐりハッピー にっこにこ

平成29年度（2017年）

Y Aクラス

こまったどじょうは ひらめいた
おいけのなかまを あつめよう
メダカにザリガニ カエルさん
さあさあいっしょに あそびましょう

Y Bクラス

どんぐりころころ さようなら
からすにはこばれ さあきたく
やっどのおもいで ついたけど
やまにはスーパー たっていた

どんぐりころころ なきやんで
たくさんたくさん あそんだら
ひがくれちゃって さあたいへん
そろそろおやまに かえりましょう

どんぐりころころ きんだいか
これがげんじつ つらすぎる
それでもあしたは やってくる
つよくいきよう どこんじょう

Y Bクラス

どんぐりころころ ずっとなき
ひがくれどじょうは ねちゃったよ
どじょうのおはなに はいってみた
はくしゅんおやまに とばされた

平成27年度（2015年）

Y Aクラス

どんぐりころころ ころころりん
ころころころがり すぎちゃった
やまこえたにこえ まちをこえ
こどここどここ かえれない

平成30年度（2018年）

最後のドングリ授業の作品です。

Y Aクラス

どんぐりころころ ないてたら
なくなるとどじょうに どなられた
どんぐりどじょうの ひげぬいた
おこったどじょうに たべられた

Y Bクラス

どんぐりころころ なきながら
おやまにかえると きめました
どじょうとおわかれ かなしくて

YBクラス

どんぐりころころ なきつかれ
もぐっておひるね していたら
おきたらおおきな きになって
どんぐりなかまも できました

7. 考 察

ドングリについて講義の一例を紹介したが、普通、ドングリを使った話といえば、ドングリ拾いかドングリゴマやドングリ笛になることが多い。今回は、保育園や幼稚園で行われているそれらの遊びではなく、童謡「どんぐりころころ」に注目してみた。この講義は、15コマの中の1コマに過ぎないが、学生の取り組みが一番良かったように思う。そのほかの講義でも工夫を凝らして実施しているつもりだが、本物を見ながら、絵を書き、考えをまとめ、発表するというこの形式は、大変実りの大きいものであった。

童謡「どんぐりころころ」は皆が知っている歌であり、実際に保育園や幼稚園でも歌われることが多い。ここでは、「ドングリ」「ドジョウ」「どんぐりころころの歌」の3つに分けて考察したい。

ドングリについては、長崎県内のいろいろな場所でドングリ拾いが可能であり、最も身近な自然と思われる。実際に、今年の9月の幼稚園実習ではドングリ拾いや「どんぐりころころ」を歌うなど、ドングリに関する遊びや話を実施した学生もいた。しかし、ほとんどの学生は、どこに行けばドングリが拾えるかは知らず、ドングリも一種類とと思っている。長崎県ではドングリの木は普通であること、実際に女子短の構内にも多数のドングリの木があることを教えると一様に驚いていた。時間の関係で、実際にドングリ採集はできなかったが、実施すべきであったと思っている。来年度は、ドングリ拾いから実施してみたいと思っている。また、一般的な、コマの作成等も必要なことと思われる。

ドジョウについては、ドングリと変わらないぐらい名前は知っているが、本物を見たことがないということだった。ドジョウのイメージとしては、絵本やイラスト等で見たウナギのように細長く、

口元にひげがあるというユーモアな姿であった。本物のドジョウを見た感想をあげてみると、「絵本と同じだ」「本当にひげがある」「どんぐりとぴったり合う姿だ」などである。学生全員が、感動してその姿を見ているようすは非常に印象的であった。本物を見せることの大事さを改めて感じることができた瞬間であった。

「どんぐりころころ」の歌は、全員がよく知っており、2番まで歌うことができる。幼児教育科の学生としては、絶対に知っておかなければ童謡なのであろう。今回の、3番の歌詞を考えて作詞してみようという試みは、長崎女子短大の幼児教育科に勤務するようになった時から実施している。毎年、90分の時間をかけ実施するが、おもしろいのは、同じような歌詞はほとんどないということである。過去、8回分のクラスの代表歌詞を見ても分かるように、発想、情景、言葉など実に多種多彩である。これは、講義の担当者として非常に嬉しいことで、このような講義を展開してよかったなと思う瞬間でもある。3番の歌詞を考える前に、1、2番の歌詞の情景を絵に描かせることも非常に大切と思う。絵を描きながら、歌詞が頭の中ではっきりと認識されて、3番のイメージがわいてくるのではないだろうか。歌いながら、絵を描きながら、次の展開を考える時の学生の姿は実に生き生きとして目が輝いている。

今後の展開としては、次のように考えている。90分の一コマだけでは、3番の歌詞作成だけで精一杯である。90分の二コマを使うことによって、ドングリ拾いやドングリゴマの作成等も可能になる。来年度からは、一コマ目にドングリ採集とドングリゴマの作成を行い、二コマ目に3番の歌詞を考えるという講義展開にしていきたいと考えている。

長崎女子短大の幼児教育科の学生のほとんどは、卒業後、保育園や幼稚園、こども園の先生になっていく。学生にとって、最も苦手となっている自然のおもしろさを、一人でも知ってもらえるよう、今後も講義の工夫をしてきたいと思う。

8. 参考文献

- 文部科学省 幼稚園教育要領 平成29年告示
文一総合出版 育てよう・調べよう・生き物大図鑑
1990
小学館 日本野生植物館 1997年